

オ 人口及び認定者数将来推計について

はじめに

次期計画期間（令和3年度から令和5年度）における介護保険料を算定するにあたり、被保険者数を適切に見込む必要があることから、市内の人口及び要介護認定者数の推計を行う。

いわき市高齢者保健福祉計画（令和3年から令和5年までの3か年）の高齢者数等の推計は以下のフローで実施している。

- 1【現人口の整理】・・・過去5か年分の住民基本台帳の登録人口の整理
- 2【将来人口の推計】・・・1をもとにした、将来人口の推計
- 3【認定者数の推計】・・・2の将来推計人口をもとにした、認定者数の推計

1 現人口の整理

将来人口の推計にあたり、過去～現在の実績として以下の住民基本台帳の登録者を基準とした。

住民基本台帳 2016年（平成28年）～2019年（令和元年）10月1日時点
 // 2020年（令和2年）6月1日時点 ※推計時点の最新値

2 将来人口の推計

1で収集した現人口のデータをもとに、「コーホート変化率法」で将来人口を推計した。

コーホート変化率法とは

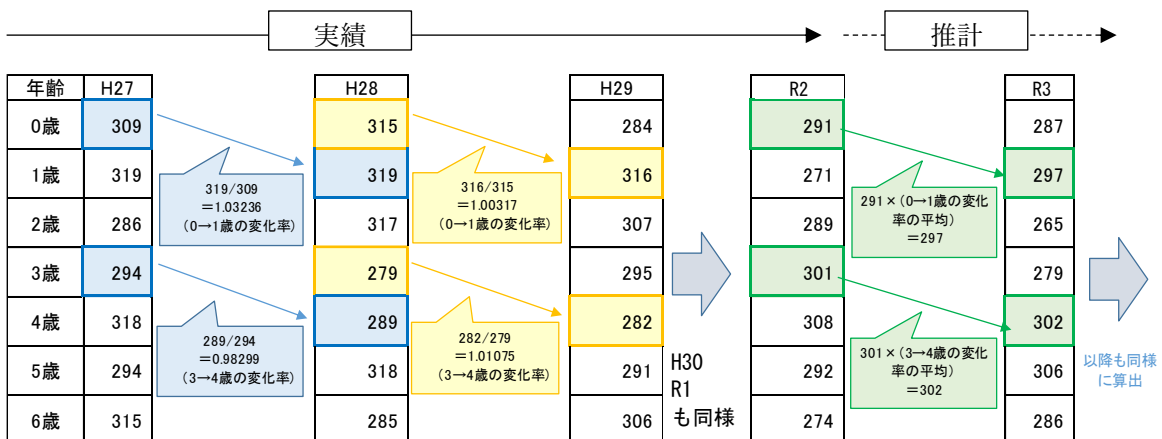
比較的近い将来の人口推計で、特殊な人口変動が予想されない場合によく用いられる手法。あるコーホート（同じ期間中に出生した集団）の一定期間における人口の増減※、「変化率」に着目し、その変化率が対象地域（いわき市）の年齢別人口動態の特徴であり、将来にわたって維持されるものと仮定して、将来人口を推計する方法。

つまり「過去〇年間の人口動態が今後も続いたら、〇年後はこうなります。」という考え方。

※人口の増減 = 出生と死亡、転入出の全ての要素を含んだトータルの結果

推計の基本的な考え

今回の推計では平成27年～令和2年の5年分の住民基本台帳の男女・年齢別人口を実績として用いた。各年齢の変化率は期間内の傾向となるよう5年間の平均値を採り、令和3年以降の人口は、その前年における1歳下の人口に平均変化率を乗じ、推計している。



各年の0歳人口（出生数）は前年値が存在していない（生まれていない）ため、変化率が出せない。そのため、令和2年度の「0歳人口」を「15歳から49歳までの女性人口」で割った割合【婦人子ども比】が今後も続くと仮定して、その【婦人子ども比】に、当該推計年度の15歳から49歳までの女性の人数を乗じて、0歳人口（出生数）を算出している。

	2019年 9月月報 (実績)	2020年 6月 (実績)	2021年 (推計)	2022年 (推計)	2023年 (推計)	2025年 (推計)	2030年 (推計)	2035年 (推計)	2040年 (推計)
総人口	322,040	319,752	316,697	313,598	310,438	303,860	286,478	268,040	249,053
対前年比	99.2%	99.3%	99.0%	99.0%	99.0%	98.9%	98.8%	98.6%	98.5%
2020年比			99.0%	98.1%	97.1%	95.0%	89.6%	83.8%	77.9%
0-14歳	37,881	37,248	36,460	35,650	34,890	33,490	29,846	26,393	23,843
15-39歳	78,625	77,319	76,024	74,789	73,444	70,725	65,041	59,488	53,443
40-64歳	107,936	107,039	105,823	104,916	104,093	101,769	96,190	90,101	81,673
65-69歳	26,032	25,219	24,200	23,050	21,952	21,317	19,940	19,543	20,916
70-74歳	21,982	23,311	25,460	26,150	25,391	23,371	19,789	18,522	18,180
75-79歳	18,946	18,567	17,244	17,000	18,362	20,661	20,722	17,555	16,427
80-85歳	14,248	14,309	14,354	14,746	14,784	15,087	16,906	16,796	14,259
85-89歳	10,096	10,245	10,371	10,339	10,358	10,096	10,600	11,989	11,750
90歳以上	6,294	6,495	6,761	6,958	7,164	7,344	7,444	7,653	8,562
区分別	2019年 (実績)	2020年 (実績)	2021年 (推計)	2022年 (推計)	2023年 (推計)	2025年 (推計)	2030年 (推計)	2035年 (推計)	2040年 (推計)
0-14歳	37,881	37,248	36,460	35,650	34,890	33,490	29,846	26,393	23,843
15-64歳	186,561	184,358	181,847	179,705	177,537	172,494	161,231	149,589	135,116
65歳以上	97,598	98,146	98,390	98,243	98,011	97,876	95,401	92,058	90,094
前期高齢者	48,014	48,530	49,660	49,200	47,343	44,688	39,729	38,065	39,096
後期高齢者	49,584	49,616	48,730	49,043	50,668	53,188	55,672	53,993	50,998
構成比	2019年 (実績)	2020年 (実績)	2021年 (推計)	2022年 (推計)	2023年 (推計)	2025年 (推計)	2030年 (推計)	2035年 (推計)	2040年 (推計)
0-14歳	11.8%	11.6%	11.5%	11.4%	11.2%	11.0%	10.4%	9.8%	9.6%
15-64歳	57.9%	57.7%	57.4%	57.3%	57.2%	56.8%	56.3%	55.8%	54.3%
65歳以上	30.3%	30.7%	31.1%	31.3%	31.6%	32.2%	33.3%	34.3%	36.2%
前期高齢者	14.9%	15.2%	15.7%	15.7%	15.3%	14.7%	13.9%	14.2%	15.7%
後期高齢者	15.4%	15.5%	15.4%	15.6%	16.3%	17.5%	19.4%	20.1%	20.5%

3 認定者数の推計について

2で算出した推計人口をもとに、将来の認定者数を推計した。

推計の基本的な考え

各年齢の認定者の出現率（認定者数/人口）を、2で推計した各年の将来人口に乗じて算出している。

認定者出現率 最新年：2019	年齢別	2019年 9月月報 (実績)	2020年 (推計)	2021年 (推計)	2022年 (推計)	2023年 (推計)	2025年 (推計)	2030年 (推計)	2035年 (推計)	2040年 (推計)	
		20,239	20,505	20,706	20,942	21,240	21,522	22,201	22,528	22,134	
3.40%	65-69歳	886	859	824	785	748	726	679	666	712	
6.52%	70-74歳	1,433	1,520	1,660	1,705	1,656	1,524	1,291	1,208	1,186	
14.73%	75-79歳	2,791	2,736	2,541	2,505	2,705	3,044	3,053	2,587	2,420	
32.80%	80-84歳	4,674	4,695	4,709	4,838	4,850	4,950	5,546	5,510	4,678	
54.73%	85-89歳	5,526	5,608	5,677	5,660	5,670	5,526	5,802	6,563	6,432	
78.31%	90歳以上	4,929	5,087	5,295	5,449	5,611	5,752	5,830	5,994	6,706	
	前期高齢者	2,319	2,379	2,484	2,490	2,404	2,250	1,970	1,874	1,898	
	後期高齢者	17,920	18,126	18,222	18,452	18,836	19,272	20,231	20,654	20,236	
	認定率	2019年 (実績)	2020年 (推計)	2021年 (推計)	2022年 (推計)	2023年 (推計)	2025年 (推計)	2030年 (推計)	2035年 (推計)	2040年 (推計)	
	認定率	20.7%	20.9%	21.0%	21.3%	21.7%	22.0%	23.3%	24.5%	24.6%	
	前期高齢者	2.4%	2.4%	2.5%	2.5%	2.5%	2.3%	2.1%	2.0%	2.1%	
	後期高齢者	18.4%	18.5%	18.5%	18.8%	19.2%	19.7%	21.2%	22.4%	22.5%	
	出現率	前期高齢者	4.8%	4.9%	5.0%	5.1%	5.1%	5.0%	5.0%	4.9%	4.9%
	後期高齢者	36.1%	36.5%	37.4%	37.6%	37.2%	36.2%	36.3%	38.3%	39.7%	

4 まとめ

①人口推計について

65歳以上人口は2021年をピークとして、減少傾向にある。しかし、それ以上に0歳から64歳の人口減少が大きいため、65歳以上の構成比(高齢化率)は上昇していくと推計される。

②認定者数について

本計画の対象期間である直近3年については、推計を変更しても、推計結果に大きな差は生じていない。

今後、基準となる実績値の更新や、本市の最上位計画である総合計画や人口ビジョンでの人口推計、国の提示資料等と整合を図りつつ、必要に応じ推計値を修正していく。